

広島大学 越智 貢教授の講話の概要
演題：「松永高等学校における道德教育の進め方」

1 これまでの取組み

「道德教育推進委員会」の設置
推進委員会内の意見の統合から
全校教職員の意見の統合へ

2 道德教育に成功する学校・失敗する学校

失敗する学校

- ・校長先生が授業を見ない
- ・全教員が研究授業に参加しない
- ・全教員が研究協議に集中できない

成功する学校

- ・全教員の意志が一つになった学校 - チームプレー
- ・教師のモチベーションが高い
- ・生徒が教師の変化に気づくことにより生徒のモチベーションも高くなる

3 道德に関する授業の意味について

道德に関する授業は、生徒指導の処方箋ではない

道德に関する授業は、クラスの健全さの指標ではある

道德に関する授業で生徒の道德性が向上することはない

道德に関する授業でモラル知識を教える必要はない。なぜなら、すでに分かっていることだから。

4 道德教育の目標の設定

人生の目標

それを失わないための知識

それを身に付けるための体験

として考えることができる。

学問的な根拠として「長期的利己主義(long term egoism) = 自制心を含んだ利己主義」を挙げることができる。

5 強制力（抑止力）の視点

ベンサム 外的サンクション

自分の人生のための自制

J．S．ミル 内的サンクション

良心